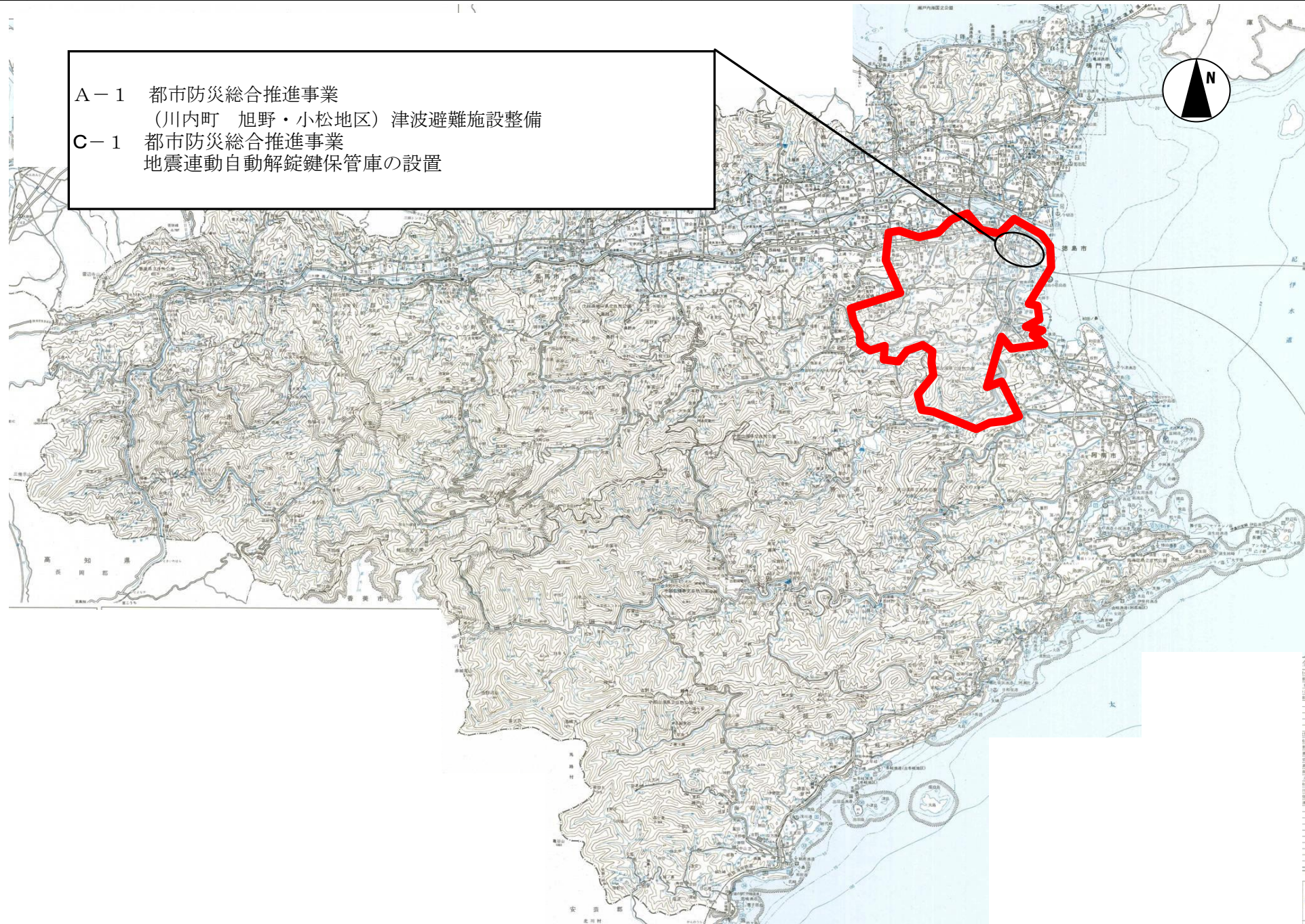


(参考図面①)

徳島市域における地震等災害に強い安全・安心な都市づくりの推進（防災・安全）

計画の名称	徳島市域における地震等災害に強い安全・安心な都市づくりの推進（防災・安全）（案）		
計画の期間	平成30年度 ～ 平成32年度（3年間）	交付対象	徳島市

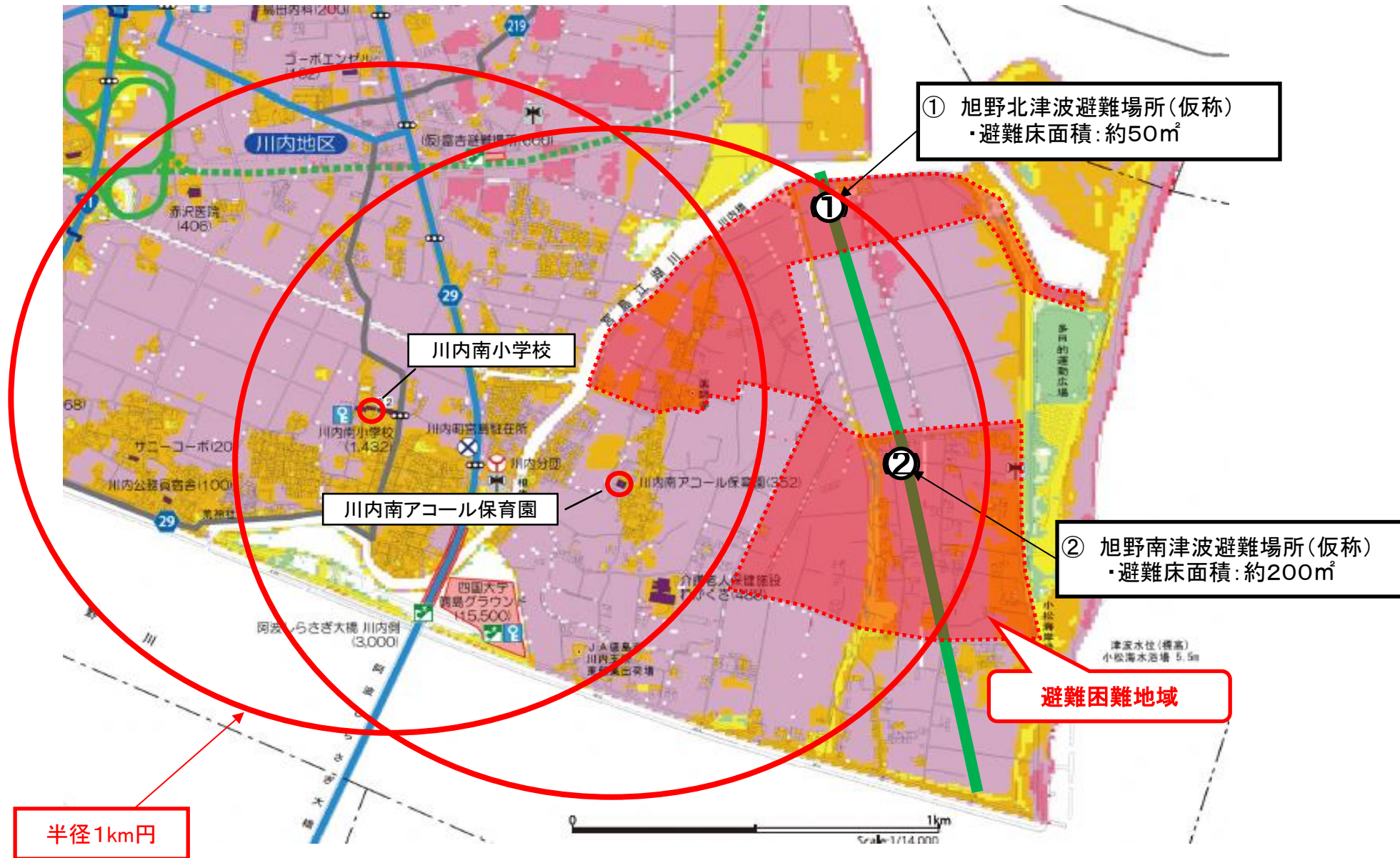
- A-1 都市防災総合推進事業
（川内町 旭野・小松地区）津波避難施設整備
- C-1 都市防災総合推進事業
地震連動自動解錠鍵保管庫の設置



(参考図面②)

徳島市域における地震等災害に強い安全・安心な都市づくりの推進 (防災・安全)

計画の名称	徳島市域における地震等災害に強い安全・安心な都市づくりの推進 (防災・安全) (案)		
計画の期間	平成30年度 ~ 平成32年度 (3年間)	交付対象	徳島市



都市防災事業計画(第1回変更)

社会資本総合整備計画名

徳島市域における地震等災害に強い安全・安心な都市づくりの推進(防災・安全) [平成30年度～平成32年度]

徳島県徳島市

平成31年3月

防災子ども安全まちづくり計画への移行に伴い、
平成30年度以降は本事業計画に基づき実施予定。
平成29年度以前の内容は都市防災事業計画(第3回変更)
(平成30年1月・徳島市)参照。

(様式1) 整備方針等

【防災まちづくりの現状及び課題】

(市域全域・事業地区における防災上の現状及び課題)

本市は、徳島県の東部に位置し、市内北部を流れる吉野川が作りだした沖積平野の三角州上に作られた面積191.69km²、人口26万人余りの都市である。

市内においては、満潮位以下の低地帯が市街地の50%以上を占めており、風水害に脆弱な様相を呈している。

平成24年10月31日に県が公表した南海トラフを震源とする徳島県津波浸水想定では、徳島市東沖洲のマリンピア東端で避難に影響が出始めるのは、地震発生後約41分となり、津波の高さが最大となるのは地震発生後約53分で、津波水位(標高)約5.0mと想定されている。

川内町の旭野・小松地区では、地区の全てが津波浸水想定区域であり、最大4m程度の津波が想定され、津波到達時間(41分)から避難準備時間(10分)を除く31分の間に津波避難場所に避難できない津波避難困難地域が存在しており、津波避難場所の確保が急務となっている状況である。

また、川内町米津・富吉地区においては、NEXCO西日本が四国横断自動車道の道路法面を活用し津波避難場所を整備したところであるが、避難場所以り口の鍵は地区の町会長等が保管しており、発災時に誰もが開錠できる状況にはない。近隣には小学校等があることなどを踏まえると、発災時に子どもからお年寄りまで誰もが開錠できる施設とすることが求められている。

【整備方針】

(市域全域・事業地区における防災上の課題解決のための整備方針)

徳島市では、第4次徳島市総合計画の中で「地震対策の強化」として、東南海・南海地震対策を市民の安全を守るための特に重要な施策として位置づけ、災害に強いまちづくりを早急に進めることとしている。

国や県が実施する南海トラフ地震防災対策等を見極めながら、ハード・ソフト両面からの総合的な地震防災・減災対策を推進し、特に津波避難対策では、平成26年度に策定した徳島市津波避難計画に基づく津波避難対策を着実に推進することにより、住民の迅速かつ円滑な避難を確保し人的被害の軽減を図ることとしている。

川内町の旭野・小松地区においては、地区全体が津波浸水想定区域であり、高台や公共の避難場所が少ないことから、積極的に民間施設を津波避難ビルに指定するなどの津波避難場所の確保に努めているが、津波避難困難地域は解消されていない状態である。

当該地区における避難困難地域を解消し、地域住民の生命・財産を守るため、地区内の小学校等の周辺である四国横断自動車道及び四国縦貫自動車道の道路法面を占用し、津波避難場所を整備するもの。

また、小学校等の通学路において関係機関が連携した合同点検等の安全対策を施設整備と併せて実施することにより、防災性と子どもの安全性を総合的に向上させ、安全・安心な都市づくりを推進する。

なお、これと合わせて、川内町米津・富吉地区において、地震連動自動解錠鍵保管庫を2カ所設置し、発災時において津波避難場所を迅速に解錠し、地域住民の円滑な避難の実現を図るもの。

(様式2) 計画事業一覧

事業計画一覧

都道府県名	徳島県	市町村名	徳島市	計画期間	平成30年度～平成32年度
担当部局名	危機管理局 危機管理 課	担当者	(正) 吉田 浩章 (副) 吉本 悠二 (副)	連絡先	TEL 088-621-5529 FAX 088-625-2820 e-mail kiki.kanri@city.tokushima.lg.jp

【都市防災総合推進事業】

事業区分	事業主体	事業地区名	地区面積 (ha)	都市防災総合推進事業における事業期間		補助率	補助事業費(予定)額		
				開始年度	終了年度		(参考) 事業費	(参考) 国費	
地区公共施設 等整備	地区公共施設	徳島市	川内町 旭野・小松地区	235.5	H30	H32	2/3	165.0	110.0
合計								165.0	110.0

注) 補助事業費については百万円単位。

注) 該当のないメニューについては行を削除する等して、なるべく一枚に収まるように作成してください。

(様式3) 関連事業

事業区分	事業主体	事業地区名	事業規模 (面積、延長、幅員等)	総事業費 (国費ベース)	事業期間		事業実施状況	重点密集市街地 の有無
					開始年度	終了年度		
地震連動自動解錠 鍵保管庫整備事業	徳島市	川内町 米津・富吉地区	2箇所	3.0 (1.5)	H30	H30	H30年度着手予定	無
地域住民による 通学路の合同点検	徳島市	川内町		0.0 (0.0)	H30	H32		無

注) 総事業費について百万円単位

注) 地域防災計画、地震対策緊急事業五箇年計画等を参照し、関連部局と調整の上作成

(様式4) 年度別事業計画【参考】

上段：当初（変更前）、下段変更後【百万円単位】

事業区分	事業主体	事業地区名	整備内容	重点密集市街地	補助率						計	
						平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度		
地区公共施設等整備	地区公共施設	徳島市	川内町 旭野・小松地区	津波避難場所	×	2/3		160.0 [106.7]	5.0 [3.3]			165.0 [110.0]
合計							160.0 [106.7]	5.0 [3.3]			165.0 [110.0]	

注) 補助事業費については百万円単位。

(様式5)年度別事業計画【参考】

○補助額の内訳

上段:当初(変更前)、下段変更後【百万円単位】

事業地区名	整備内容	整備の内訳	補助率	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	計
川内町 旭野・小松地区	津波避難場所	測量、設計 工事	2/3		160.0 [106.7]	5.0 [3.3]			165.0 110.0
合計					160.0 [106.7]	5.0 [3.3]			165.0 110.0

○用地取得面積

上段:当初(変更前)、下段変更後【m2単位】

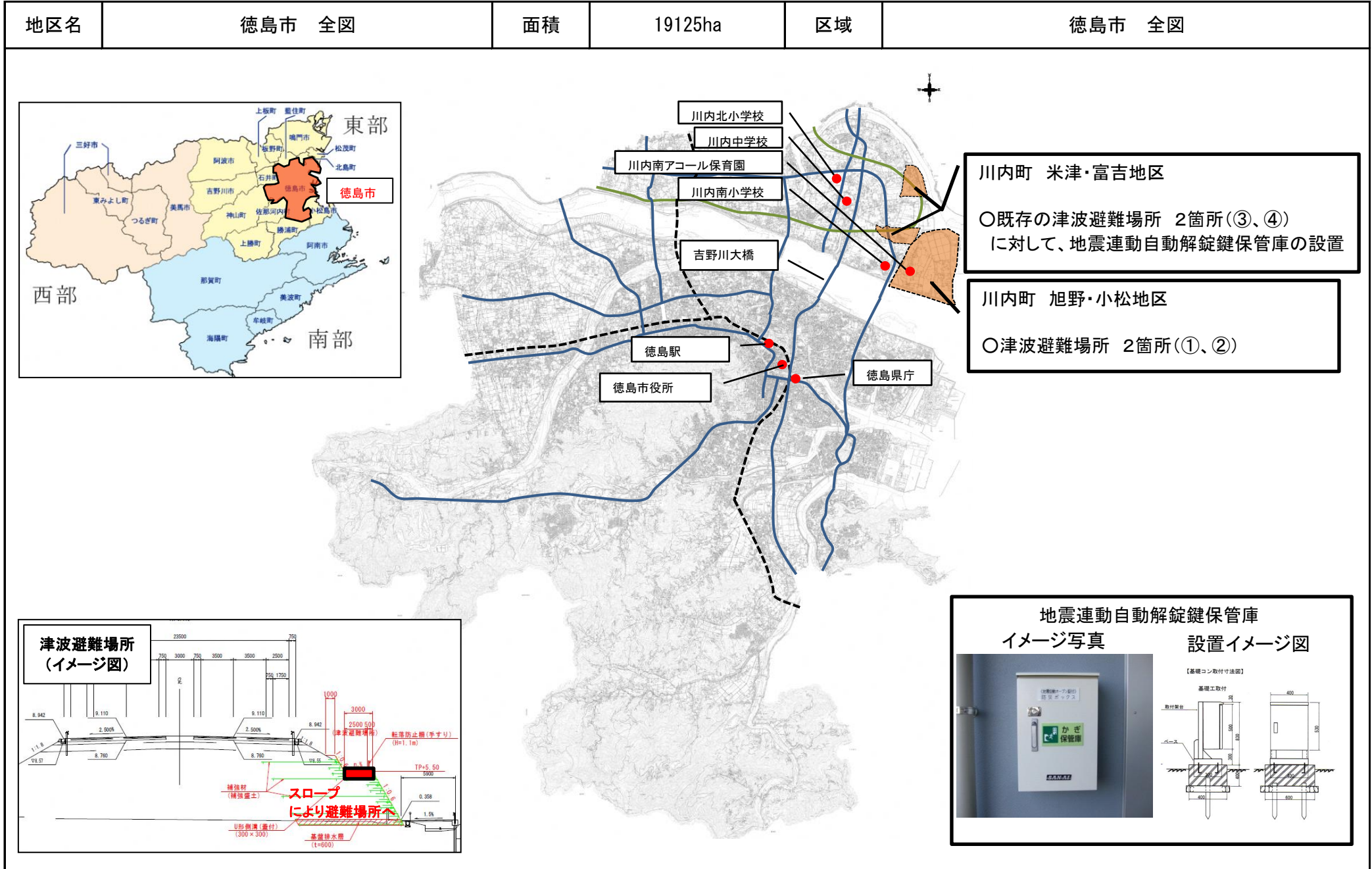
事業地区名	整備内容	整備の内訳	補助率	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	計
		用地	1/3						

(別紙) 効果促進事業について

上段：変更前、下段：変更後【百万円単位】

事業地区名	整備内容	整備の内訳	補助率	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	計
川内町 米津・富吉地区	地震連動自動解錠鍵保管庫	用地以外	1/2	3.0 [1.5]					3.0 [1.5]
			合計	3.0 [1.5]					3.0 [1.5]

(様式6) 現況図等



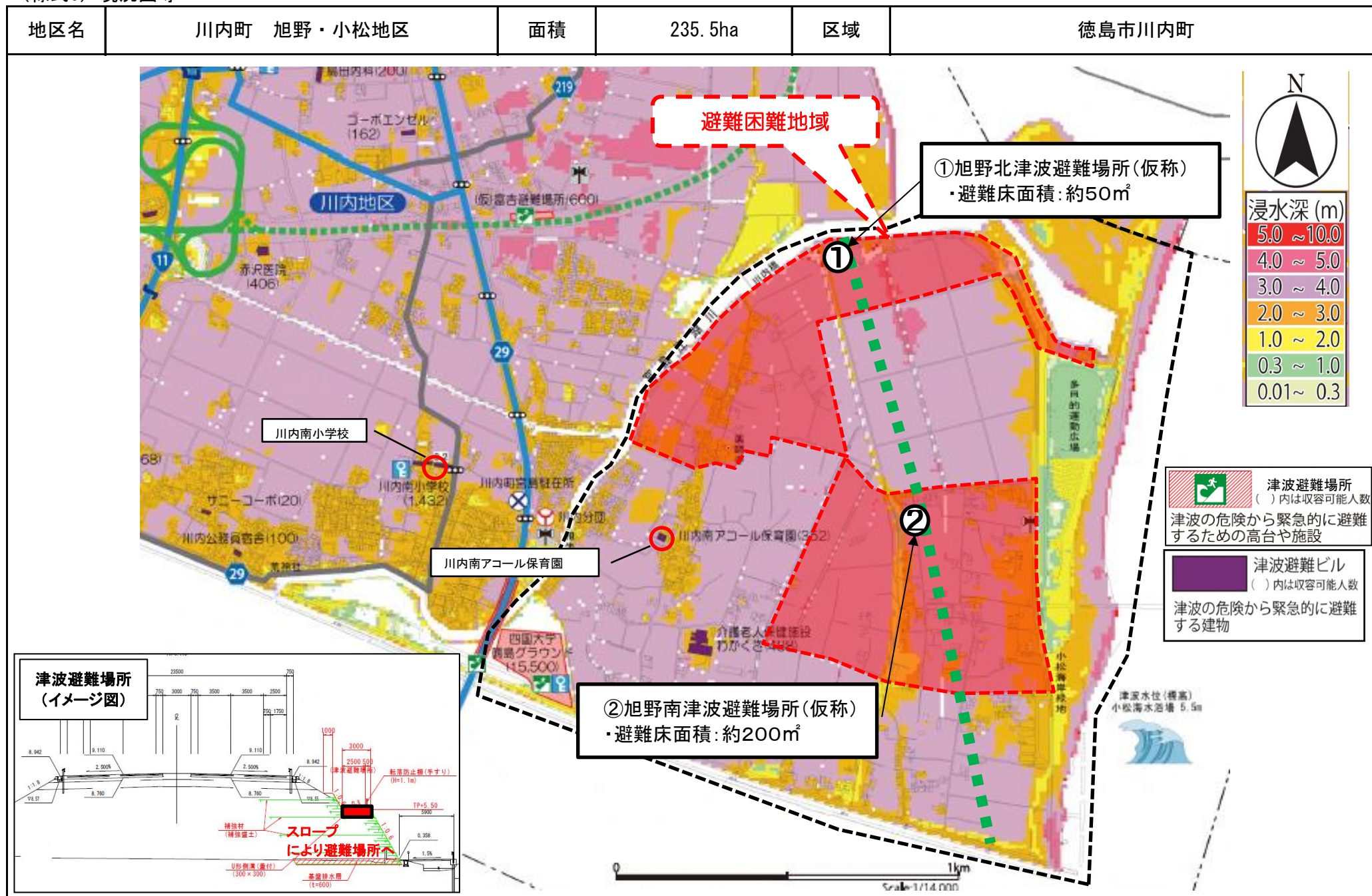
川内町 米津・富吉地区
 ○既存の津波避難場所 2箇所(③、④)
 に対して、地震連動自動解錠鍵保管庫の設置

川内町 旭野・小松地区
 ○津波避難場所 2箇所(①、②)

地震連動自動解錠鍵保管庫
 イメージ写真 設置イメージ図

【基礎コン取付け法図】

(様式6) 現況図等



効果促進事業（地震連動自動解錠鍵保管庫）

別添のとおり

事業概要

基幹事業

津波避難場所 事業費 165,000千円

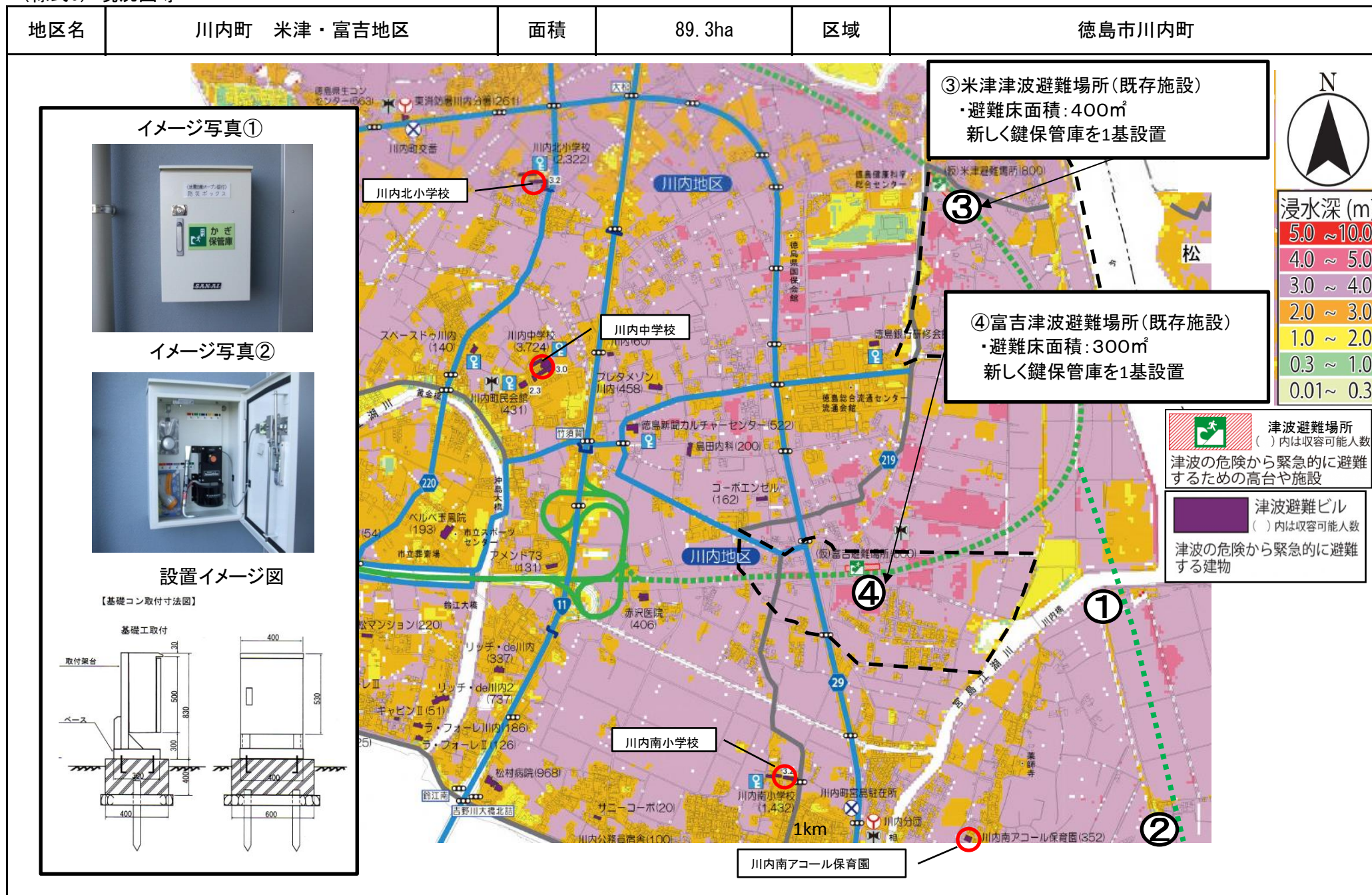
効果促進事業

地震連動自動解錠鍵保管庫 2箇所
事業費 3,000千円

事業の必要性

津波避難場所の新規整備に併せて、NEXCO西日本が管理している高速道路の法面を活用した津波避難場所に地震連動自動解錠鍵保管庫を整備することにより、津波に対する川内町全体の安全性を向上させる。

(様式6) 現況図等



(様式6) 現況図等 [徳島県徳島市 津波避難困難者ゼロプログラム]

地区名	徳島市（津田地区 外）	面積	894.3ha	避難困難者数	7,294人	区域	徳島県徳島市
-----	-------------	----	---------	--------	--------	----	--------

市町村全体の津波避難困難者解消に向けた計画の概要

1. 津波避難困難者の解消計画

No	地区名	地区面積 (ha)	避難困難者 数(人)	避難困難者解消 目標年度								
				H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
①	津田地区（津田西町二丁目）	9	150	0	150	-	-	-	-	-	-	-
②	津田地区（津田本町四丁目）	5	410	0	410	-	-	-	-	-	-	-
③	川内地区（平石若松）	31	557	0	557	-	-	-	-	-	-	-
④	沖洲地区（南沖洲5丁目）	12	600	0	600	-	-	-	-	-	-	-
⑤	津田地区（新浜二・三丁目）	15	1,480	0	0	1480	-	-	-	-	-	-
⑥	川内地区（米津・富吉）	105	1,400	0	0	1400	-	-	-	-	-	-
⑦	川内地区（大松・加賀須野・平石夷野）	458	1,597	0	0	0	0	0	0	1,597	-	-
⑧	川内地区（北原地区）	24	600	0	0	0	0	0	0	600	-	-
⑨	川内地区（旭野・小松）	236	500	0	0	0	0	0	0	0	500	-
計		894	7,294	0	0	0	0	0	0	2,197	500	0

2. 津波避難施設の整備計画

No	地区名等	整備内容	整備 目標年度									事業費 (百万円)	国費 (百万円)	
			H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32			
①	津田地区（津田西町二丁目）	津田山東津波緊急避難場所の整備		工事									3	0
②	津田地区（津田本町四丁目）	民間施設に外階段を整備し津波避難ビルに指定		工事									8	0
③	川内地区（平石若松）	民間施設に屋上安全柵等を整備し津波避難ビルに指定		工事									8	0
④	沖洲地区（南沖洲5丁目）	民間施設に外階段を整備し津波避難ビルに指定		工事									8	0
⑤	津田地区（新浜二・三丁目）	津田山南津波緊急避難場所の整備			工事								8	0
⑥	川内地区（米津・富吉）	高速道路法面を活用した津波避難場所の整備		設計・工事									116	0
⑦	川内地区（大松・加賀須野・平石夷野）	高速道路法面を活用した津波避難場所の整備						設計	工事	工事			120	80
⑧	川内地区（北原地区）	高速道路法面を活用した津波避難場所の整備						設計	工事	工事			40	27
⑨	川内地区（旭野・小松）	高速道路法面を活用した津波避難場所の整備						設計			工事		170	110
計													330	217

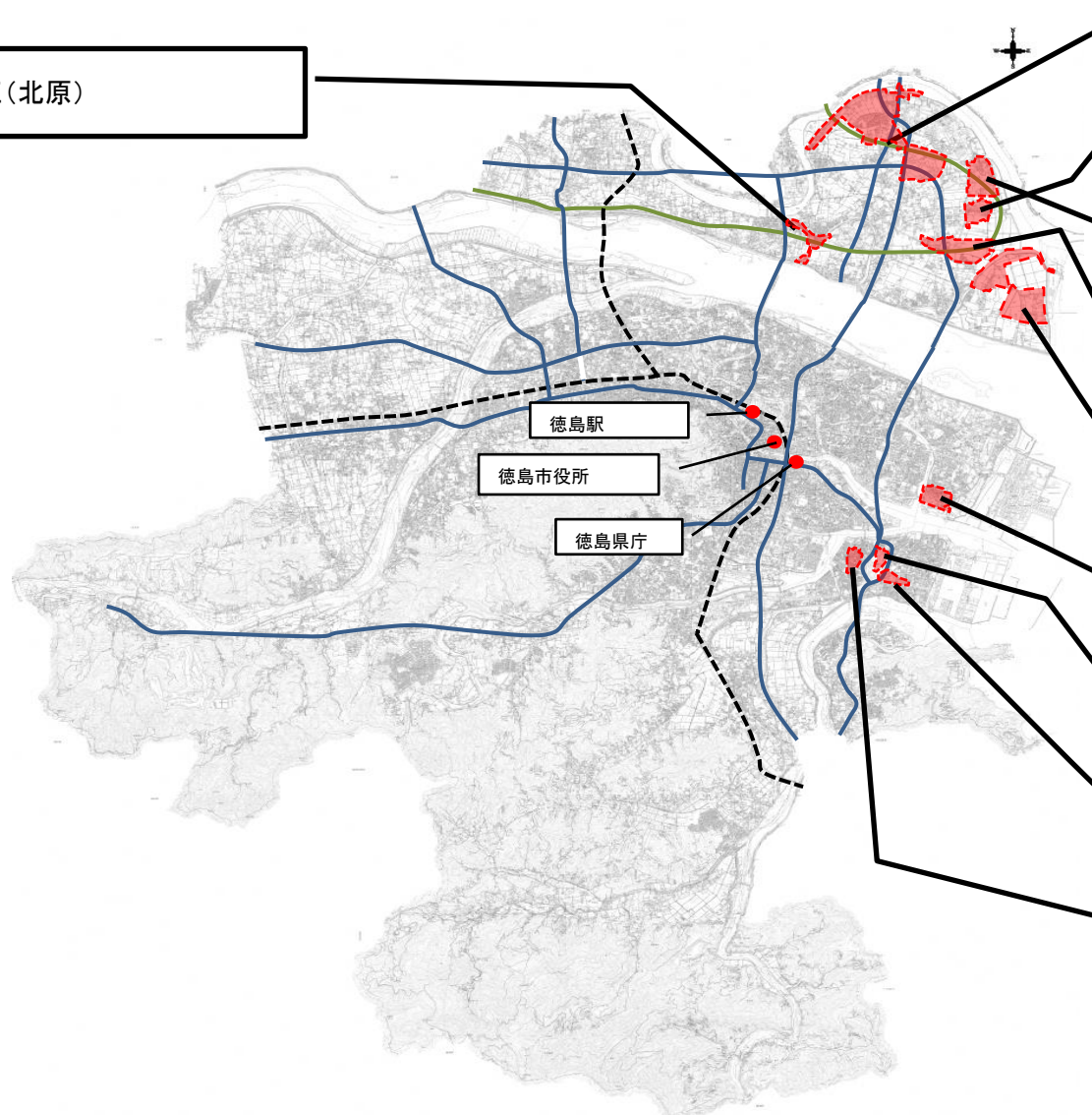
(様式6) 現況図等 [徳島県徳島市 津波避難困難者ゼロプログラム]

地区名	徳島市 (津田地区 外)	面積	894.3ha	避難困難者数	7,294人	区域	徳島県徳島市
-----	--------------	----	---------	--------	--------	----	--------

市町村全体の津波避難困難地域の概要図

津波避難困難地域 概要図 (徳島市全域)

川内地区(北原)



川内地区(大松・加賀須野・平石夷野)
○ 津波避難場所 3箇所(⑦-①・②・③)

川内地区(平石若松)

川内地区(米津)

川内地区(富吉)

川内地区(旭野・小松)

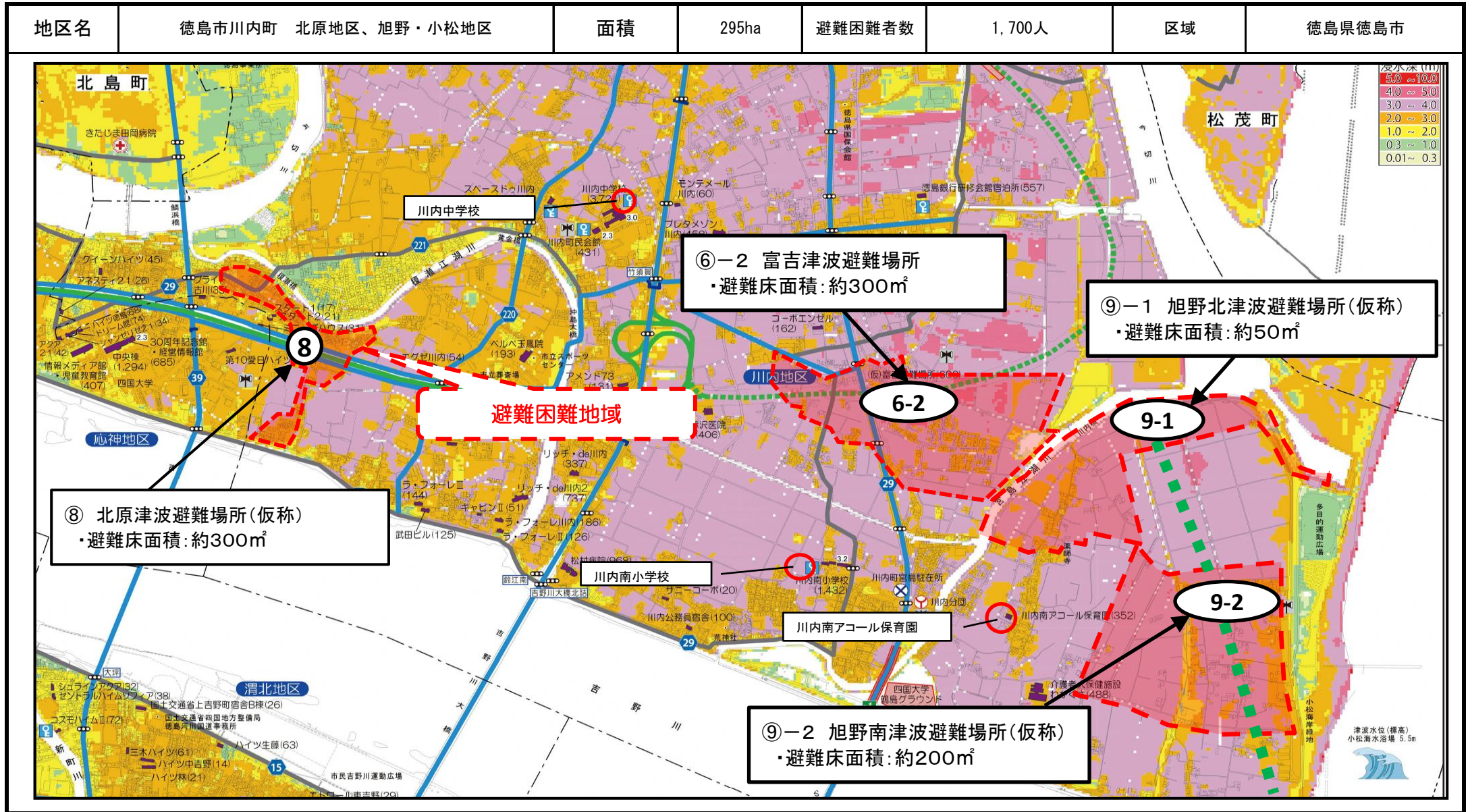
沖洲地区(南沖洲5丁目)
○ 屋外階段の設置 1箇所(④)

津田地区(津田西町二丁目)
○ 津波避難場所 1箇所(①)

津田地区(津田本町四丁目)
○ 屋外階段の設置 1箇所(②)

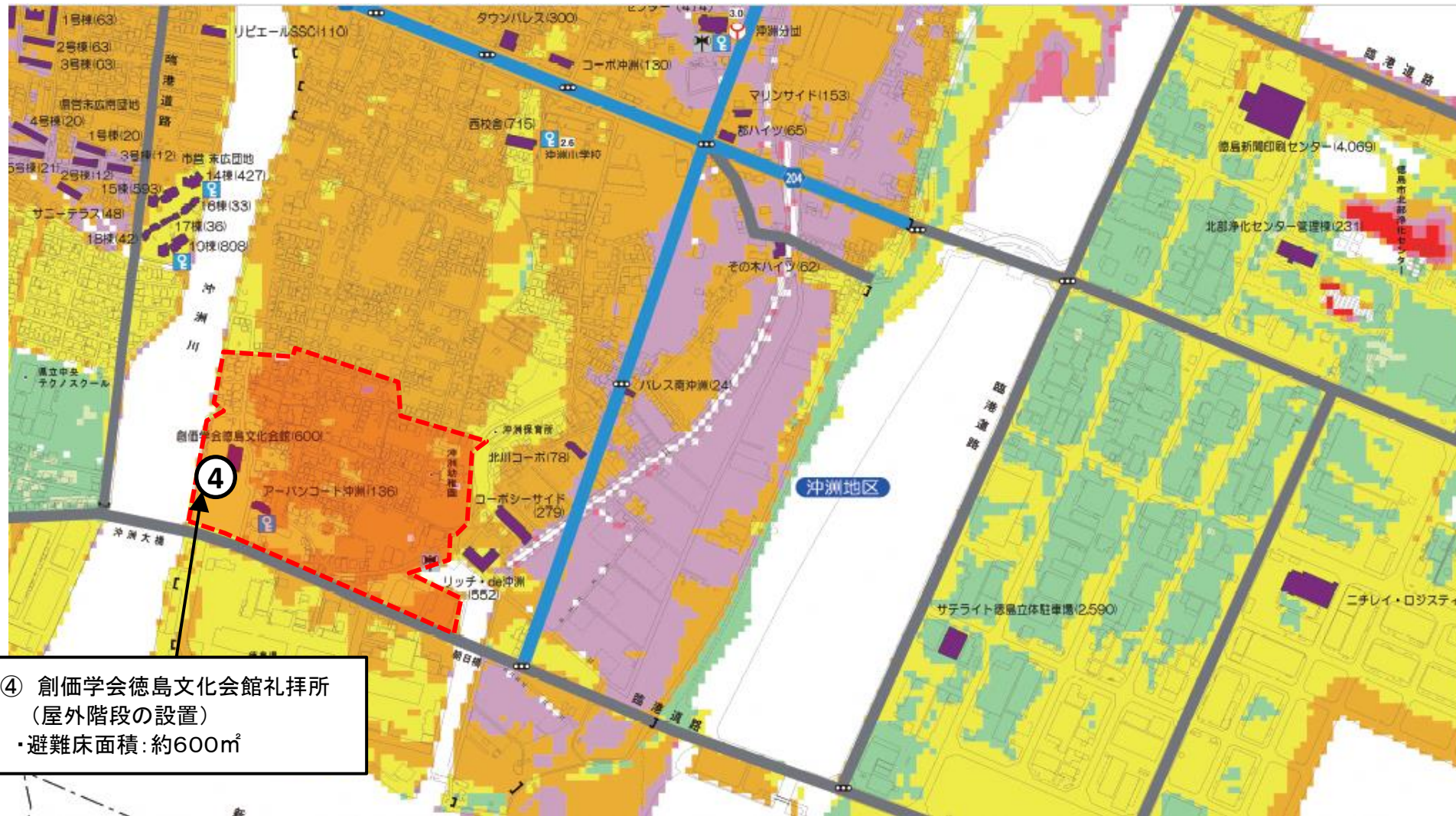
津田地区(新浜二・三丁目)
○ 津波避難場所 1箇所(⑤)

(様式6) 現況図等 [徳島県徳島市 津波避難困難者ゼロプログラム]



(様式6) 現況図等 [徳島県徳島市 津波避難困難者ゼロプログラム]

地区名	徳島市 沖洲地区 (南沖洲5丁目)	面積	11.9ha	避難困難者数	600人	区域	徳島県徳島市
-----	-------------------	----	--------	--------	------	----	--------



④ 創価学会徳島文化会館礼拝所
 (屋外階段の設置)
 ・避難床面積: 約600㎡

(様式6) 現況図等

地区名	旭野・小松地区	面積	235.5ha	区域	徳島県徳島市
-----	---------	----	---------	----	--------

【地区公共施設】（津波避難場所①）

施設の規模及び収容人数の妥当性等

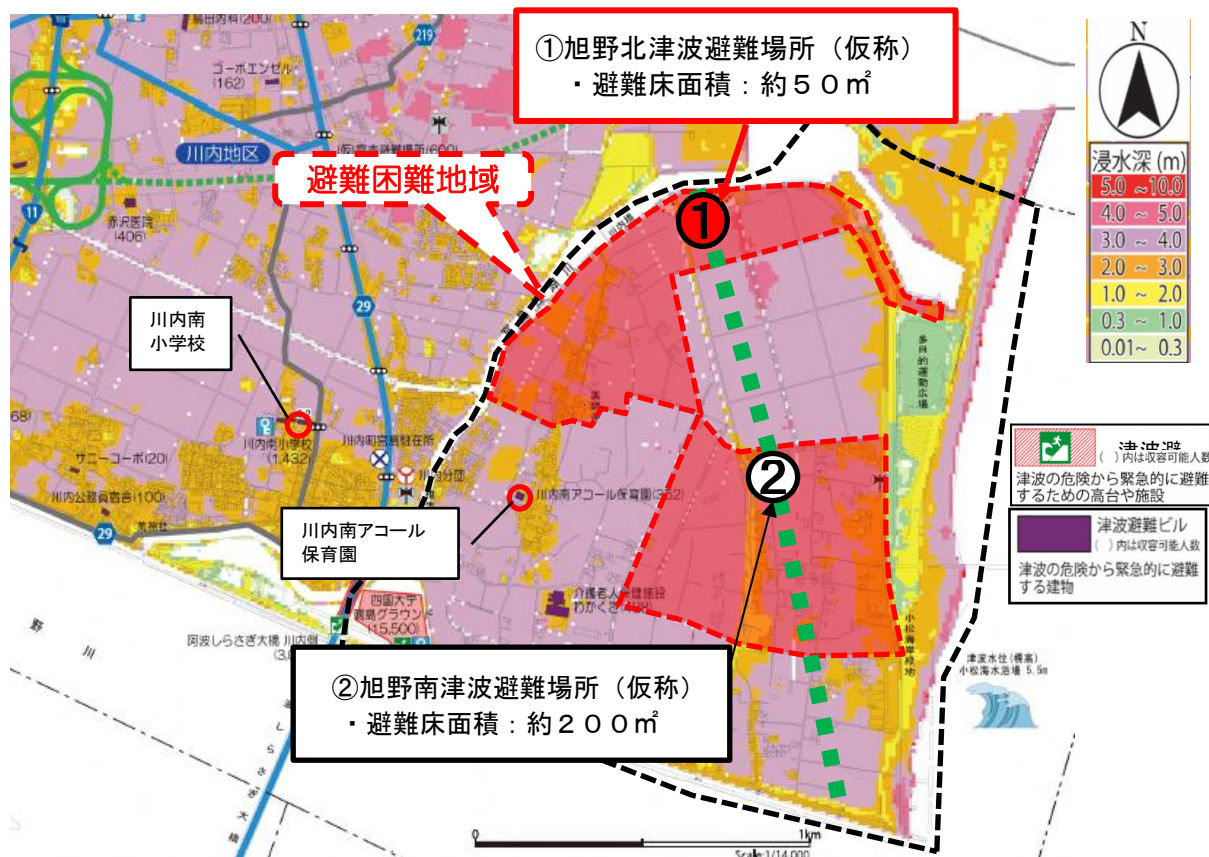
【目的】

津波避難困難地域が存在する旭野・小松地区において、津波避難困難者を解消する解消するため、地区の緊急避難場所となる施設（津波避難場所①）を整備し、防災性の向上を図るものである。

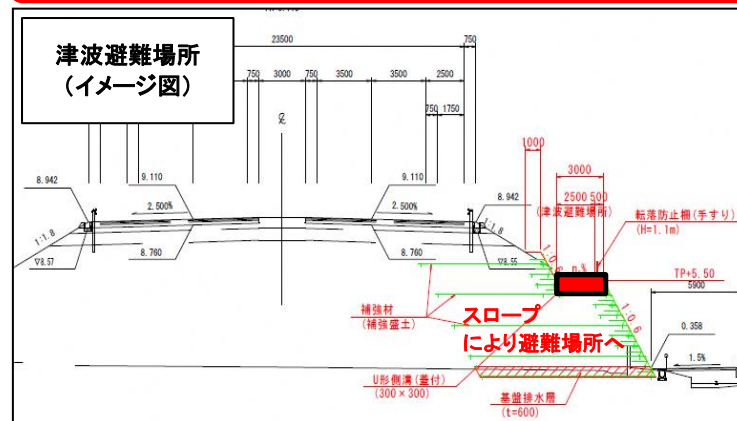
平時及び災害時における防災性向上のための活用方法

【施設概要】

平時は、地区の防災意識向上を図るため、防災訓練（2回／年）に活用する。
災害時は、地区住民の生命を守るため、緊急避難場所として活用する。



地区公共施設の整備内容(施設の概要が分かる配置図、平面図等)



(様式6) 現況図等

地区名	旭野・小松地区	面積	235.5ha	区域	徳島県徳島市
-----	---------	----	---------	----	--------

【地区公共施設】（津波避難場所②）

施設の規模及び収容人数の妥当性等

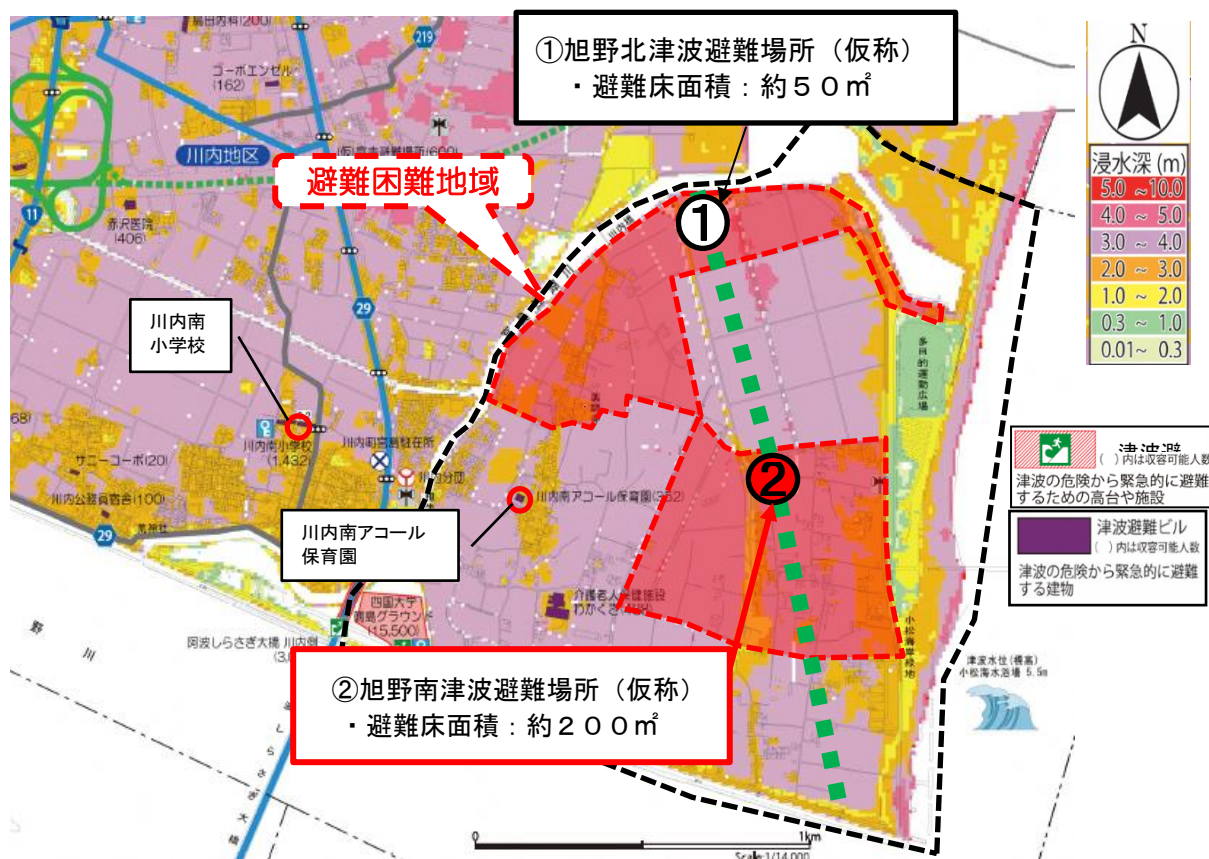
【目的】

津波避難困難地域が存在する旭野・小松地区において、津波避難困難者を解消する解消するため、地区の緊急避難場所となる施設（津波避難場所②）を整備し、防災性の向上を図るものである。

平時及び災害時における防災性向上のための活用方法

【施設概要】

平時は、地区の防災意識向上を図るため、防災訓練（2回/年）に活用する。
災害時は、地区住民の生命を守るため、緊急避難場所として活用する。



地区公共施設の整備内容(施設の概要が分かる配置図、平面図等)

